

ブレンドの日

中西祐介

お金になる言葉を探している
不安な不穏がやってくる
胸の辺り 嫌な感じが広がって
呼吸は浅くなる

微熱を解熱剤で隠し
痛みを痛み止めで閉ざし
睡眠時間を決めて
探している

ただ花を眺めて写真を撮って
きれいだな と思えた
囚われた安定を
平穏だった日々を 返してほしい

殺伐とした現実はやってきて
ドガドガと乱暴にノックする
慌てるなよ 待っているから
落ち着き払ったようすだけはみせる
本当は参っている

少し早いかき氷の匂い
夕方になれば全てが落ち着いてくる
願っている 叶わないが

どの花にもだいたい名前があり
想いは言語化され
私は磨耗し めげる寸前 である

あの日 私になにができ
できなかったから ここに
いなかったら よかつ
たとしても

ペットボトルのミルク多めのカフェオレの後味が
ワサビ みたいで
わざわざブラックコーヒーを買ってきて
混ぜて飲めるようにした

ブレンドシップデー
あ オスプレイだ